



あっぷねす

発行：弘前大学生協本部
 〒036-8224 弘前市文京町1番地
 Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
 2024年3月15日 第163号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。
 弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.163

REPセッション#7 (総代の集会)

開催日時：1月16日(火) 18:30~20:00 場所：大学会館2階Scorum
 参加人数：42名(総代数：13名 学生委員会：23名 職員数：6名)

開催目的

- ① 総代が組合員から集めてきた意見・要望を、正規職員・学生委員会に直接届ける場所を設けること。
- ② 総代・職員・学生委員会の三者間の隔たりを無くし、総代が生協に深く関わっている人々とより気軽に話せるようにし、総代活動を活発化させること。



意見回収の時間では利用してみたいの感想や要望を話し合っ、より実体験を交えての交流を促すことができました。上記の通り利用頻度が高い店舗ということもあり、様々な感想・要望が出ていました。

生協学生委員会 教育学部2年 山田航平

「弘前大学のキャンパス内にあるコンビニ」ということで Cerisier と Clover をメインテーマとしました。この2店舗は「週に何回ほど来店しますか？」という質問に対して「ほぼ毎日」という回答が一番多かったこともあり、学生にとってかなり身近にある店舗です。

医学部店舗職員 高梨より、店舗の名前の由来や店舗が設置された背景など、普段の大学生活でわからない裏情報など店舗ごとの特徴的な企画が出てきて、その後の意見回収の時間でも話に挙がっていました。



(左) ポスター作成の様子 (右) 総代が作成した容器回収のポスター

【総代の声】

- 総代として活動する中で、弘前大学生協や組合員に貢献できていると感じられた。
- 生協店舗について知らない情報がたくさんあってびっくりした。

意見回収で出た意見 ※いただいた意見は各店に伝え改善に努めます

Cerisier	Clover
フラップを置いてほしい	休講の日もやって実習の時助かる
ポムピンを置いてほしい	冷凍チャーハンとかを入れてほしい
商品が常に入れ替わって良い	おしぼりを置いてほしい
サンドイッチとおにぎり半額が嬉しい	文房具とかも置いてあるのが助かる
通路が混雑して大変	温かい食べ物(肉まんとか)が欲しい
スコラムのコーヒーを買いたい	弁当メニューに野菜の多いものを入れてほしい

議決事項



今回から会場が
組合員センター2階ホールとなりました

第1号議案 第63回通常総代会 運営方針「組合員活動の時間」

第63回通常総代会運営方針について提案がありました。また、学生委員会より「組合員活動の時間」のテーマについて提案がありました。9次中期計画より「チャレンジ」をテーマとし、組合員が「チャレンジ」したいことについて、店舗の課題と店舗として何ができるのかを総代会で議論することとしました。議論が活発になるよう、「生協が無くなった場合」や「もし自分が店舗の店長だったら」などを想定してみるといいのではないかなど、様々な意見が出されました。今回いただいたテーマに関する意見については、3月常務理事会でも継続して検討していきます。

第2号議案 2023年度決算見込み

第3号議案 2024年度店舗方針・予算案

第1号議案～第3号議案について、全会一致で可決承認されました。

報告事項

2. 弘大生協創立60周年記念事業の振り返り(途中経過)

弘大・弘大生協の今と昔「大好きなところ」写真とコメント・エピソード募集を終了し、理事会で投票を行いました。

4. 令和6年能登半島地震災害支援募金

2月末までとしていましたが、継続することとしました。



組合員活動の時間について提案する
学生委員会副委員長 小林くん(常務理事)

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

前期受験生の保護者さま向け「入学準備説明会」を開催しました

開催日時：(対面) 2月25日(日) 10:00~12:30 札幌：道新ホール 仙台：TKPガーデンシティ仙台
(オンライン) 1月20日(土)・21日(日) 18:00~21:00

2月28日(水) ※医学科以外 29日(木) ※医学科 18:00~21:00

参加数：計777組(1月20日88組・21日48組・札幌150組・仙台75組・2月28日294組・29日122組)



札幌、仙台会場では対面で開催し「住まいの物件ボード」「ミール」「おすすめパソコン」の情報を掲示し、パソコン・タブレットの実機を手にとってもらえるようにしたこともあり、説明会前後や休憩時間を利用して確認している保護者さまの姿が見られました。

説明会は先輩学生と生協職員から、入学準備費用、パソコン・タブレットの準備、教科書購入、一人暮らしの住まい、食生活のこと、生協共済について、友達づくり等について話しました。アンケートから「先輩学生の大学生活の具体例を聞くことで、イメージができ準備の参考になった」という声を多数いただきました。他、やはり初めて一人暮らしをすることになるので、「住まい」についての質問や相談が多かったです。

PC活用講座「大学生生活応援塾」

(連載全3回 #3「目標」)

スタッフ数：50名

【24応援塾の目標】

受講生のゴールイメージを3段階で設定し、応援塾を通して各段階をクリアしていくPCスキルを身に付けられる講座を提供する。



新人研修 話し合いの様子

講座作成は2年生スタッフが主体となって進めています。今年は上記目標に合わせて昨年のコンテンツから大幅に変更し、学生と職員が協力しながらより現在の新入生にあった内容にすべく作成しています。また弘前大学を志望する受験生・合格生へ向けて、今年は1月から3月でオンライン講座体験会を全7回実施予定です。

SHAREA職員 応援塾担当 藤田麻衣

1月の新人研修では外部から講師を招き、秋田大学の講座スタッフと合同で新規スタッフ総仕上げ研修を対面で開催しました。スタッフとしてのマインドや知識を学び、演習を通してGA（グループアドバイザー）スキルを磨きました。

3月に予定している直前研修では、4月に実施する応援塾ガイダンスの模擬を通してプランチェックや講座運営中の様々なトラブルの対処法を学び、本番に向けて対応力を磨きます。



応援塾スタッフ集合写真

弘前大学生協創立60周年記念事業



「弘大／弘大生協の今と昔 「大好きなところ」 写真・コメントコンテスト」

弘大生協創立60周年記念事業の一つとして、大学・弘大生協の広報に取り組み「弘大／弘大生協の今と昔」と題して、弘大・弘大生協の大好きなところに関する写真とコメントを募集しました。

2月理事会において投票を行い、最優秀賞（1名）、優秀賞（7名）、特別賞（ほか）を決定し、受賞された作品は「弘大生協60周年記念誌」をはじめ、ホームページやSNS等で公開し、組合員の皆さまに楽しんでいただきます。

これまで長年に渡る組合員の皆さんの「出資」「利用」「運営」に支えられ、2023年で創立60周年を迎えました。

次の10年も、組合員の皆さまのお役に立てる弘大生協づくりに努めて参ります。

学生総合共済からのお知らせ

1月のお支払い状況

病気入院	12件
病気手術	8件
事故入院	4件
事故手術	2件
事故通院	16件
こころの早期対応保障	5件
計	47件

お支払い金額

4,831,500円

たすけあいアンケートより

「今回で4回目の自然気胸です。毎回たすけられています。ありがとうございます。」

(自然気胸 入院9日 手術1回)

共済金 140,000円)



*G1200コース加入者のお支払い件数を掲載しています。

新入生サポートセンター営業



大学生活説明会 職員から学生総合共済についての話

2月11日(日)より新入生サポートセンター営業が始まりました。今年から来場時間の短縮と、先輩学生からの提案を効果的に伝えるため「大学生生活説明会」を開催。説明会后、個別対応となり先輩学生が1家族に1人ついて大学生活への疑問や不安にお答えするという流れに変更しました。

大学生活の準備や住まい探しはもちろん、高校生から大学生になるという「こころの準備」も含めて新入生、保護者さまのサポートを心掛けています。

大学生生活アドバイザーは春から研修をうけ、自分の知識や経験を伝えながら、大学生活準備のサポートをしています。



弘前大学生協は弘前大学とは別法人ですが弘前大学が直接取組むことが難しい下記の業務について、弘前大学が弘前大学生協に業務委託(契約)しています。

「福利厚生業務」「教育支援業務」「研究支援業務」「その他大学業務」

●住まい探し●学生食堂●教科書・教材販売●新生活準備等のサポートも、これらの業務委託に含まれるとして、弘前大学生協が行っています。

編集後記



「卒業」と「脱退」 弘前大学生協では学生組合員の多くの方が卒業に伴い生協の脱退手続きをされています。テレビではアイドルがグループからの「卒業」や「脱退」がニュースに。この違いは、となると「脱退」はその団体から抜けることを指すけど、「卒業」は修了し次のステップへ続くことという意味合いで使われています。春を迎える前に生協でも長く勤めていた方が退職することに。ご本人とお話する機会があったのですが「退職」というより「卒業」という感じ。新しい門出です。寂しい気持ちでいっぱいでしたが、そう考えると笑顔で手を振ってお見送りできそうです。(SHIMO)